

メイク・ア・ウィッシュについて



メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパンは、難病と闘う子ども一人ひとりの夢をかなえるために設立された世界的なボランティア団体の日本支部です。

1992年に設立以来、たくさんの皆様にお力添えをいただきながら、3000人を越える子どもたちの夢をかなえてまいりました。たくさん子どもたちと出会う中で、私たちは夢の力の素晴らしさを知りました。一人の子どもが夢をかなえることはみんなの喜びとなります。夢はかなえただけでは終わらない…。病気のままだでも夢をかなえることができたという大きな自信と、たくさんの方の応援を力として、子どもたちに今をもっと輝いて生きてほしいと願っています。

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン
事務局長 鈴木 朋子

Wish Story

夢のひとつひとつに物語があります

「夢の実現が僕の人生を変えた」

林 祐樹さん

14歳で骨肉腫と診断され、すべてをあきらめていた林さん。

しかし、彼の人生は「本場アメリカの野球の試合を観たい」という夢をかなえたことで変わりました。

その後、夢がかなった喜びから新たな目標が生まれます。

それは、診療放射線技師になること。

「自分の闘病経験を生かして、一人でも多くの患者さんの手助けをしたい。」

そして彼は今、その目標を実現しています。



出演者

吉田浩之(テノール)

瑞々しく伸びやかな美声と叙情性豊かな表現力で聴衆を魅了し、高い評価を受けている我が国を代表するリッコー・レジュエロ・テノール。《こうもり》のアルフレード役でオペラ・デビュー以来、新国立劇場、東京フィル・オペラコンチェルトアンテ、二期会公演など数々のオペラ公演に出演し、いずれも好評を博す。また、第九やオラトリオ、宗教曲等ソリストとしても卓越した歌唱に定評がある。福井県敦賀市出身。国立音楽大学声楽科卒業。東京藝術大学大学院オペラ科修了。二期会オペラスタジオを優秀賞で修了。90年、モーツァルト没後200年記念国際モーツァルト声楽コンクール本選入賞。翌91年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてローマに留学、その間イタリア各地で数多くのコンサートに出演。97年、第25回ジロー・オペラ賞新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部声楽科教授。福井ふるさと大使。昨年11月に待望のソロ・アルバム「プロプリオ」(ピアノ：丸山滋)がフォンテックより発売。

早川りさこ(ハープ)

NHK交響楽団ハープ奏者。東京藝術大学卒業後、＜第3回日本ハープコンクール＞及び＜第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクール＞にて優勝。国内主要オーケストラと共演するなど活動の場を広げ、ヒンデミット「木管楽器、ハープとオーケストラのための協奏曲」アルウィン「ハープ協奏曲」、リーパーマン「フルートとハープの為の協奏曲」の日本初演を行っている。2013年には、タン・ドゥン氏の新作「13のマイクロフィルムとハープの為の協奏曲」を作曲者自身の指揮でNHK交響楽団と世界初演した。(この作品はNHK交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・コンサート・ヘボウ管弦楽団の共同委嘱作品である)作品の誕生から初演を終えるまでのドキュメンタリー番組「涙の書」は各方面で話題となった。現在、東京藝術大学、及び国立音楽大学にて後進の指導にもあたっている。

小林加代子(ソプラノ)

東京藝術大学音楽学部声楽科、及び同大学院修士課程修了。二期会オペラスタジオ修了(優秀賞受賞)。平成元年度文化庁芸術家国内研修員。「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタ役でデビュー後、「秘密の結婚」カローラ、「魔笛」パミーナ・パバゲーナ、「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル・眠りの精、プリテン「小さな煙突掃除やさん」ジュリエット、「哀れな水夫」妻、「黄金の国」雪、「夜長姫と耳男」エナ子[初演]、「超越」スサンナ[初演]、「さんせう太夫」厨子王[初演]、「ボツペアの戴冠」ドゥルジツァ、「こうもり」アデーレ、「白馬亭にて」クレルヒェン等、多数のオペラ、オペレッタに出演。また、モーツァルト「レクイエム」、「戴冠ミサ」、シューベルト「ミサ」、C.オルフ「カルミナ・ブラーナ」、マーラー「交響曲第4番」、ベートーヴェン「第九」等のソリストとしても出演している。'91年より一年間イタリア(ローマ)に留学。その間イタリア各地においてコンサートに出演。近年、震災復興支援演奏などに積極的に参加。確かな歌唱に加え、華やかな舞台姿は、どの公演においても常に高い評価を得ている。柴田陸陸、柴田喜代子、原田茂生、毛利準、大島洋子、S.ローチの各氏に師事。東京室内歌劇場会員。二期会会員。また、トランペット、マリンバ、ピアノとの異色ユニット「Le ali d' angelo(天使の翼)」のメンバーとして活動。

片岡詩乃(ハープ)

6歳よりアイルッシュハープを、10歳よりグランドハープを始める。東京芸術大学音楽部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学及び同大学院修了。これまでにハープを畑園子、井上美江子、篠崎史子、イザベル・ペランの各氏に、室内楽を湯川和雄氏に師事。1999年、第11回日本ハープ・コンクール「ハープとフルートのデュオ部門」において第1位受賞。2010年王子ホールで開催された「片岡詩乃ハープ・リサイタル」において、高橋悠治氏に新曲作品「そしてまた」を委嘱初演。現在、国内外のオーケストラハープ奏者として活躍のほか、CD録音やNHK「songs」等のテレビ出演などジャンルを問わず幅広く活動している。

2018年11月22日(木)18:30開場／19:00開演 ルーテル市ヶ谷ホール

料金：大人 3000円／こども(小、中学生) 2000円

チケットお求め・お問合せ：

公益財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン 03-3221-8388

ルーテル市ヶ谷センター <http://www.l-i-c.com/>

〒162-0842東京都新宿区市谷砂土原町1-1

アクセス：各線「市ヶ谷」駅下車 ◎JR総武線 地上出口 徒歩7分

◎都営地下鉄 新宿線A1出口徒歩7分◎東京メトロ 有楽町線／南北線5,6番出口 徒歩2分

